

ていね地域フォーミュリ Vol.6

インフルエンザ治療薬

【推奨薬】

<内服> オセルタミビルカプセル/ドライシロップ

- 成人1 治療あたりの薬価はインフルエンザ治療薬の中で最も安価である
妊婦・授乳婦への使用経験も多い

<吸入> イナビル吸入粉末剤 20mg (ラニナミビル・先発品)

- 吸入による1 回投与のみで可能であるため、有用性は高い
海外報告ではプラセボとの比較試験で有効性が得られなかった

【オプション】

<内服> ゾフルーザ錠 (バロキサビル・先発品)

- 1 治療あたりの費用が高く、アドヒアランスに問題のある患者などへの使用に限られる

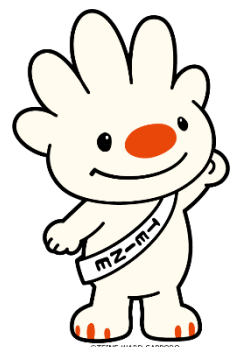
<吸入> リレンザ (ザナミビル・先発品)

- 1 日2 回、5 日間の吸入が必要である
多くの使用実績がある。耐性の報告がほとんどない

<注射> ラピアクタ点滴静注液 (ペラミビル・先発品)

- 唯一の点滴静注製剤であり、経口投与や吸入ができない重症例に使用する

(治療) 幼小児の場合 (1 回量)
2mg/kg (DS 剤として 66.7mg/kg)
新生児、乳児の場合 (1 回量)
3mg/kg (DS 剤として 100mg/kg)



※備考※

各薬剤の評価基準は、一般社団法人日本フォーミュリ学会 モデルフォーミュリ委員会の解説書を参考にし、詳細は札幌薬剤師会手稲支部に問い合わせる

問い合わせ先: satuyaku.teine@gmail.com

2024 年 10 月 1 日作成

(2025 年 11 月 4 日 レイアウト変更・統一)